

事務事業	11017	子育てほっとライン運営事業	担当課 課長	子育て支援課 吉原正治	担当係 担当者	子育て支援係 小林敦香
計後 画期 体計 系画	施策	05 子どもを安心して生み育てることができるまちをつくる	予算 科目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	140 子育てに関する情報提供や相談・交流できる環境をつくる		款	3	民生費
				項	3	児童福祉費
				目	6	子育て支援事業費
法令根拠条例等			地域子育て支援拠点事業実施要綱			個別計画
実施期間	<input type="checkbox"/> 28年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		H12 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度	

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 志免町総合福祉センター(シーメイト)内で、相談員が火・木曜日の9時～16時に子育てに関する電話、面接による相談を行い、子育て中の家族(保護者)の不安やストレスを解消する。	<input type="checkbox"/>	2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
	主 な 事 業 費 の 内 訳	千円
		千円
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 相談員の雇用等に関する事務、相談員への賃金支払事務、相談業務の管理・運営、「子育てほっとライン」の周知・広報事務		千円
		千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

事務 事業 の 目 的	① 手段(主な活動) 28年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) ・電話相談 ・面接相談	⇒	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	指標数値			
	② 対象(誰、何を対象にしているのか) 子育て中の保護者	⇒	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)				
	③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 子育ての悩みを相談することで、不安を解消する	⇒	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)				

(2) 総事業費の推移

事 業 費	財源内訳(千円)	27年度 (決算値)	28年度 (当初予算)	28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
	国・県支出金、地方債等	796	600	679	608		
	受益者負担等						
	一般財源		302	159	304		
	合計(A)	796	902	838	912	0	0
	(内臨時・嘱託職員人件費)	796	892	838	902		
	正職員人件費[按分](B)	320	277	370	605		
トータルコスト(A)+(B)	1,116	1,179	1,208	1,517	0	0	

事務事業評価表(事業実施年度:平成28年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
子育て中の保護者の不安やストレスを、専門の相談員との電話相談・面談等により解消することを旨とした。子育てサポートセンターしめ開設時に併設して平成13年より開始。	学童期の相談が減少した。	この様な事業があつていることをもっと周知、広報してほしい

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		28年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成28年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	①積極的な広報 周知することで、悩みが生じた時、利用につながる。 ②相談事業の整理 色々な窓口があるため、どんな内容の相談をどこにしたらいかが分からない方が多い 多岐に渡る窓口を一つにするか、整理していく必要がある	<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input checked="" type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	相談機関が多様化しているため、利用者が減っている。より周知に力を入れるようにする。

2 評価(SEE)及び全体総括の部*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか?※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	子育て中の保護者が子育ての悩みを相談し、不安を解消することは、安心して子どもを育てることができることにつながる。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	子育てに不安を抱える保護者が孤立するのを防ぐためにも、町が支援していく必要がある。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	今後も広報等で周知を行うことで、町民に広く利用してもらおう。
評価 ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	電話での相談も受けているため、この窓口だからできたという方もいて、頼りにされているため影響がある。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input checked="" type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input type="checkbox"/> ない(理由→)	他の相談窓口と兼務で対応するなどすれば、経費を削減できると思われる。

(2) 28年度を振り返って(全体総括・反省点)

相談窓口が多岐にわたっているが、学童期の相談が減っていることから、利用者のすみ分けができてきたと感じられる。

3 今後の方向性(29年度以降の計画と30年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成29年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	積極的に広報し周知することで、悩みが生じた時の利用につなげる。 他の相談窓口と兼務で対応するなどすれば、経費を削減できると思われる。